



【特集】NGO福岡ネットワーク 30周年記念イベント報告

▲30周年記念イベントでの集合写真

▼ 目次【VOL.149】

- 2-3 【特集】NGO福岡ネットワーク
30周年記念イベント報告
- 4-5 FUNN活動レポート
- 6 FUNN加盟団体活動レポート
- 7 NGO相談員報告・イベント情報

NGO福岡ネットワークは1993年9月の設立以来、九州最大のネットワークNGOとして福岡・九州地域のNGO、国際協力に携わる関係機関・個人とネットワークを形成して活動を行ってまいりました。2023年の30周年の区切りに際し、九州のNGOの活動、ネットワークNGOのこれまでとこれからについて考えることを目的とした30周年記念イベントを開催いたしましたので、当日の報告をいたします。

特集記事は次のページから >>>

NGO福岡ネットワーク30周年記念イベント『つながることで、みえること』実施報告

『つながることで、みえること』当日概要

■日時：2023年11月23日（木・祝）

第1部：11:00～13:30 正会員団体出展イベント

第2部：14:00～16:30 30周年記念シンポジウム

■場所：福岡市NPO・ボランティアセンターあすみん

■主催：特定非営利活動法人 NGO福岡ネットワーク

■助成：公益財団法人西日本国際財団

■参加者：53名

■第一部出展団体：

NPO法人ISAPH/（特活）難民を助ける会/アジア開発銀行福岡NGOフォーラム/（特活）アジア女性センター/JVC九州ネットワーク/認定NPO法人地球市民の会/NPO法人トゥマンハティふくおか/（特活）バングラデシュと手をつなぐ会/フレンズ国際ワークキャンプ九州/（特活）NGO福岡ネットワーク

『つながることで、みえること』第一部報告

第一部ではFUNNも含め10団体のNGO団体が出展するイベントを開催いたしました。

当日は会場に各NGO団体のメンバーが集まり、それぞれ団体紹介パネルの設置や、フェアトレード商品等の販売を行うブースを作り、参加された方々にも熱心に活動についてのお話をされていました。会場内のステージでミニイベントも行い、ブース出展いただいた団体のうち3団体から活動紹介をしていただきました。まずはバングラデシュと手をつなぐ会代表で、FUNN代表でもある二ノ坂保喜先生より、バングラデシュと手をつなぐ会の活動の歴史の振り返りのほか、オカリナ演奏でイベントに花を添えていただきました！続いて、NPO法人ISAPHからは団体紹介とラオスで取り組まれている昆虫食の事業について一緒に活動されている佐伯真二郎さんから貴重な現地でのお話をお伺いすることができました。最後にフレンズ国際ワークキャンプ九州からは、海外でのワークキャンプの様子や福智町で取り組まれている地域活動の様子をご紹介いただきました。どの団体さんも多種多様な活動をされていて、改めて活動を理解することができました。



▲第一部の様子

『つながること、みえること』 第二部報告

第二部ではまずは伊藤衆子さん（国際協力NGOセンター連携マネージャー）に「これからのネットワークNGOの役割とは？～イギリス「BOND」視察の経験から考える日本のネットワークNGOについて～」と題して話題提供をいただきました。イギリスのBONDの特徴や実際に視察に行ってみて感じた日本のNGOとの違いや驚きについても共有していただきました。

その後は「パネルディスカッション①これまでのFUNNの歩みを振り返るー設立から30年までー」を実施し、歴代のFUNN事務局関係者に登壇いただき、FUNNが設立し、事務局ができ、法人格を取って…といった歴史について、当時実際に活動していた事務局の皆さまからお話を聞くことができました。続いて、「パネルディスカッション②今後求められるネットワークNGO／NGO福岡ネットワークの役割とは？」では各地のネットワークNGOの皆さまに登壇いただき、各ネットワークNGOの紹介と、課題の共有や、これからのネットワークNGO及びFUNNのあり方について様々なアイデアをいただきました。

今回このイベント全体を通して、ただ集まって開催するだけでなく、今後のFUNNという組織がどのような役割を担うべきなのかのヒントをたくさんいただきました。これらを活かしてこれからの活動に役立て、活動理念である「平和で公正な世界の実現」に向けて、ここ九州から頑張っていきます。ご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！今後ともどうぞよろしくお願いします！



■ 話題提供・パネラー

話題提供：伊藤衆子さん（国際協力NGOセンター連携マネージャー）

パネルディスカッション①

パネラー：二ノ坂保喜（FUNN代表）・伊東弘（FUNN元事務局長）・原田君子（FUNN副代表）・楠原圭子さん（アジア開発銀行福岡NGOフォーラム）

パネルディスカッション②

パネラー：伊藤衆子さん・中島隆宏さん（名古屋NGOセンター代表理事）・栗田佳典さん（関西NGO協議会事務局長）・藤井大輔（FUNN副代表）・安村妙（FUNN事務局長）

▲ 第二部の様子



九州地域NGO活動助成金 実施報告



▲審査会の様子

団体名	実施事業名
(特非) 地球市民の会	ミャンマーCSO スタッフ招聘、視察・交流事業
(一社) モザンビークの いのちをつなぐ会	モザンビーク共和国ペンバ 寺子屋での子ども配食活動
(任団) 多文化共生サポートつな がる・たすかる・だいじょうぶ	多文化共生サポート活動に関する 組織基盤整備事業
(任団) 子どもに能楽を勧める会	子どもと留学生の能楽発表会と 留学生との交流会
(一社) 福岡デンマーク協会	リアル・オンライン・併催により 新たな基盤とファンづくり 啓発事業
(特非) バングラデシュと 手をつなぐ会	多文化共生のためのイスラム教徒 理解向上プログラム
(任団) リトルドリーム	日本の学校体験事業の事前調査と 活動基盤整備
(任団) フレンズ国際ワーク キャンプ九州委員会	フィリピンの貧困村での インフラ整備事業

▲採択事業一覧

令和5年度は7月22日から8月26日を募集期間として、9月16日に福岡市内で審査委員も交え審査会を実施しました。今まで最も多い11団体の国際協力・多文化共生に携わる九州各地の団体からご応募いただき、8団体と過去最多の採択数となりました。残念ながら不採択となった団体さまへは当団体が実施しておりますNGO相談員事業で資金提供以外でのフォローアップで今後も関わっていきたくと考えております。今年度は立ち上げて間もない団体さまからの応募もあり、組織基盤強化での申請が例年に比べて多かったことも特徴の一つでした。また、海外での緊急支援や日本国内での在留外国人支援等国内外で行われる事業についても例年同様申請いただきました。審査委員からは、応募された事業に関する疑問点や改善すべきポイント以外にも普段の団体運営に関する活動全般のアドバイスが行われました。今回採択しました事業につきましては国際協力ニュースやFUNN公式SNSで実施状況をお伝えしていきます。

九州地域のNGOを育て応援することがこの助成プログラムの目的の一つです。「初めて助成金を申請するが申請書の書き方が分からない」「こんな事業・経費でも助成してもらえるだろうか?」といった応募前の準備段階から採択後の事業実施にかかる相談までFUNNスタッフが応じサポート致します。また、半公開式の選考審査会は多種多様なNGOの活動を知り、更に長年NPO/NGOの支援に関わってこられた審査委員の暖かくも鋭い質問や指摘から学び・気づきを得る機会ともなと思います。まだ活用されていない団体様には、ぜひ来年度以降の申請のご検討をお願い致します。



助成金受託団体活動レポート

子どもに能楽を勧める会

「子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会」

子どもに能楽を勧める会が11月19日（日）に北九州にて開催した「子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会」に参加してきました。

今年度は能楽の発表会の前に、留学生5カ国のグループによって、それぞれの母国の言語や文化について伝える発表が行われ、参加者との交流が行われました。メキシコやインドネシア、ドイツなど様々な国についての話を現地の方から聞く機会となり、クイズコーナーなども開催され、参加者もみんな楽しんでいる様子が見られました。その後、お子さんと留学生の方の能楽発表会が行われ、多くの留学生が参加され、舞を披露してくれました。会を主催されている杉岡さんにお話を聞いたところ、留学生に舞を教える時は自分のお手本を真似してもらうような形で教えているということでした。イベントに参加して普段はあまり触れることのない能楽という文化に触れることができ、その日本の文化が留学生の方に伝わり、伝統文化の継承に繋がっていることを知って、改めて会の活動の意義を知ることができ、とても有意義な時間となりました。



▲留学生の発表の様子（写真上）
留学生による舞囃子「花月」（写真下）



助成金受託団体活動レポート

バングラデシュと手をつなぐ会
「モスク体験ツアー」

バングラデシュと手をつなぐ会が11月18日（土）に開催した「モスク体験ツアー」に参加してきました！体験ツアーは箱崎にあるモスクで実施され、40名前後の方が参加されました。ツアーでは、まずモスクの施設見学を行い、施設の内部の説明が行われました。その後ムスリムの方が被っているヒジャブの紹介が行われ、実際にヒジャブの試着も行いました。ヒジャブにも国によって様々な形があることを初めて知り、貴重な体験となりました。その後、イスラム教についてやムスリムの方の文化や習慣についての紹介が行われ、今まで知らなかったムスリムについて知る機会となりました。その後はお祈りの体験をし、ハラルランチを食べながら日本に暮らすムスリムの方との交流を行いました。私の参加したグループではインドネシア国籍のご両親を持ち、長期間日本に暮らす女性とお話をすることができました。日本に暮らしながらもアイデンティティの違いによって感じることや日々の生活について、ムスリムの方本人から聞くことができ、一緒に日本で暮らしていく上で気をつけなければならないことについて考える良いきっかけとなりました。（報告：多原）



▲ヒジャブを着た参加者



▲ハラルフード

参加
報告

アジア女性センター

「海を越える、わたしの一皿、わたしの暮らし～外国人女性が語る、食べ物をめぐる物語」

アジア女性センターが11月25日（土）にクローバープラザで開催した「海を越える、わたしの一皿、わたしの暮らし～外国人女性が語る、食べ物をめぐる物語」に参加してきました。

本イベントは『食』をテーマに日本と外国のそれぞれの社会の相違点を探り、お互いの理解を深めることを目的としたもので、福岡で暮らすタイ・ロシア・ベトナム出身の女性が講師となり、母国の料理を紹介する動画を見ながら、母国の説明や文化の違いについて教えてくれました。

その後は講師ごとにグループに分かれて、お話の中で気になったことを質問するグループトークが行われました。私はベトナム出身のサンゴさんのグループに入り、日本で暮らす中での困りごとやサンゴさんが行っている活動についてのお話を聞くことができました。共に日本で暮らす住民としても、FUNNとしても、文化や習慣の違う方々のことを理解し、何ができるのか今後考えていきたいと思います。

（報告：多原）



▲イベントの様子

参加
報告

地球市民の会 40周年記念式典・参列の報告

11月25日（土）、加盟団体の地球市民の会40周年記念式典に出席させていただきました。FUNNも30周年ですが、大先輩！1983年から活動されています。式典は、創設者の故・古賀武夫さんのお連れ合いが会の経緯を振り返るVTRや2033年に向けた「地球市民“共創”宣言」の発表など、盛りだくさんで充実した内容でした。流石と思ったのは、会が地域に根付いた活動をされており、その中では地域の政官財との関係も活動当初から作られており、式にも多く参列されていたことです。その40年の積み重ねがふるさと納税の活用であったり、佐賀県のNGO誘致等つながっているのかと思います。その一方で古賀チルドレンの皆さんやボランティアで集われている皆さんもいらして、色々な形で「古賀イズム」が根付いている気がしました。それだけに古賀さんが亡くなった後が大変だったことは想像に難くありませんが、この「イズム」を引き継いで、ちゃんと新しい地球市民の会を続けてこられたことに、本当に敬意を表したいと思います。この先10年もきっとたくさんの「共創」を佐賀から生み出していけるでしょう。40周年おめでとうございます。（報告：安村）



▲記念式典の様子



NGO相談員活動レポート

海外ボランティア・
国際協力に関する相
談はコチラから→



おおいたワールドフェスタ2023に参加しました！

11月5日に大分市で開催された「おおいたワールドフェスタ2023」にブース出展させていただきました。国際協力に関する相談サービスを行った他、九州のNGO団体の紹介やフェアトレード商品の販売も行いました。約130名近くの方にブースにお越しいただき、「国際協力や活動している団体について知れてよかった」という声や「フェアトレード商品について知れてよかった。今後積極的に買って協力したい」という声をいただきました。



▲ブースでの相談対応の様子



長崎南山高校で出張授業を行いました！

12月12日に長崎市の長崎南山高校の1,2年生40名の方に出張授業を行いました。当日は難民を体験するワークショップを実施したほか、国際協力やNGOの仕事について、また多様性について講演を行いました。参加した生徒からは、「自分の今置かれている環境がいかにも恵まれているか実感した。」や「将来海外で仕事をしてみたいと考えていたが、NGOや国際協力を仕事にできるということを初めて知れた」などの感想をいただきました。



▲出張授業の様子



FUNN周辺 “おすすめ” 情報



【バングラデシュと手をつなぐ会】

2024バングラデシュ料理教室

- ◆日時：1月28日(日)10:00～15:00
(9:30開場・受付)
- ◆場所：あいれふ調理室
- ◆定員：40名（定員になり次第締切）
- ◆参加費：大人1500円 小中高生750円
- ◆申込期限：1月21日(日)
- ◆講師：ヌレンさん（九州大学学術研究員）
- ◆メニュー：チョトポディ、チキンパイ、スープ
- ◆問合せ先：info@tewotunagukai.com
山田 090-9570-1623
- ※持参していただくもの：エプロン、三角巾、マスク、料理持ち帰り用袋（容器はこちらで準備します）

【ISAPH】

プチオンラインスタディツアー：ラオスの食と栄養～街(ターケーク)編～

- ◆日時：1月13日(土) 19:00-20:00(60分)
- ◆参加方法：オンライン(ZOOM)
- ◆定員：30名(先着順)
- ◆参加費：500円(Peatixにて、チケットをご購入ください。)
- ※詳細はISAPHホームページをご確認下さい！

【モザンビークのいのちをつなぐ会】

第1回『風に立つライオン オブ・ザ・イヤー』を受賞！

命や平和を守る活動を実践する個人・団体を表彰する『風に立つライオン オブ・ザ・イヤー』の第一回『柴田紘一郎賞』（国外活動表彰）を当団体正会員団体であるモザンビークのいのちをつなぐ会が受賞しました！モザンビークでの公衆衛生、教育活動を長年に渡って行い、避難施設への支援を継続的に行っていることが評価されての受賞となりました。おめでとうございます！！

【FUNN応援募金のお願い】



NGO福岡ネットワーク（FUNN）では、九州地域に拠点を持つNGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための研修・学習会、市民の方には各ネットワーク加盟団体の活動をお知らせする他、国際理解の普及、国際問題をともに考える講座や相談業務を行っております。

昨今の社会情勢により、NGO団体として活動がより厳しい状況となりつつあります。今後も継続的な活動を行うには皆さまからの暖かいご寄付が必要です。私共の活動にご賛同頂ける方はぜひ「FUNN応援募金」へご協力をお願いいたします。皆さまからの暖かい寄付を職員一同心よりお待ちしております。

☆☆寄付の振込先☆☆

【西日本シティ銀行】

加入者名/名義人：NGO福岡ネットワーク
 カナ名：トクヒ エヌジーオーフクオカネットワーク
 支店番号：208（赤坂門支店）
 口座番号：普通 1641291
 ※メモ欄に「FUNN応援募金」とご記入ください。

【郵便振替】

加入者名：NGO福岡ネットワーク
 口座番号：01790-7-89478
 ※通信欄に「FUNN応援募金」とご記入ください。
 ※会費振込もこちらの口座まで



FUNN会員募集中！

・正会員（団体）¥10,000 ・賛助会員（企業）¥30,000
 ※金額は年会費です ・賛助会員（個人）¥6,000 ・通信会員（個人）¥3,000

会員に関する
 詳細はこちら→



編集後記

30周年記念イベントも終わり、国際協力ニュースも普段の形式に戻り、後回しにしていたことに追われながら日々過ごしております。早いものでもう2024年ですね。来年もどうぞよろしくお願いいたします。良いお年を！（編集：多原）



FUNN正会員団体リスト

- * (特活) ISAPH
- * アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- * (特活) アジア女性センター
- * (特活) 九州海外協力協会
- * 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- * 佐賀NGOネットワーク
- * JVC九州ネットワーク
- * (特活) じゃっど
- * 認定NPO法人地球市民の会
- * チベットを知る会
- * NPO法人トゥマンハティふくおか
- * 認定NPO法人難民を助ける会
- * ネパール歯科医療協会(ADCN)
- * (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- * PP21ふくおか自由学校
- * 福岡YMCA
- * フレンズ国際ワークキャンプ九州
- * (一社) ミドリゼーションプロジェクト
- * (一社)モザンビークのいのちをつなぐ会

【編集・発行】

FUNN 特定非営利活動法人
 NGO福岡ネットワーク

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1

小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内

FUNN公式ホームページ
 最新情報はコチラから



* 受付時間：火～土 13:00～18:00

* 日・月・祝・・・休み



092-405-9870



funn@ngofukuoka.net



https://ngofukuoka.net/